

◎あしずり遍路道上の近世石造物調査を実施！

12月8日(木)～9日(金)にかけて、あしずり遍路道上の道標・遍路墓等の近世石造物調査を金剛福寺側より真念庵方向にさかのぼるかたちで実施しました。調査には、元高知県立歴史民俗資料館副館長・現南国史談会会長の濱田真尚氏、南国史談会副会長の唐岩淳子氏に來市いただき、2名の市史調査協力員に調査にあたっていただきました。



↑ 足摺岬地区西川近くで新発見された遍路墓の拓本を取る唐岩淳子調査協力員



↑ 金剛福寺境内にある西国 33ヶ寺を説明した台座の拓本を取る唐岩淳子調査協力員



↑ 金剛福寺・愛染堂近くの廻国碑を調査する濱田真尚調査協力員



↑ 赤碓地区に所在する丁石を写真撮影する濱田真尚調査協力員

2日間を通じて遍路関係石造物(丁石・遍路墓等)の「銘文の読み取り」「測量」「写真撮影」を行いました。1日目(12月8日)は、伊佐共同墓地・金剛福寺境内・足摺岬地区切詰等を、2日目(12月9日)は、赤碓・大谷・津呂周辺を調査しました。

2日目の調査では早朝から、これまで誰にも発見されていなかった二十四丁の丁石を今回発見することができました。



↑赤碓で発見した二十四丁の丁石
これまで所在が不明だった丁石で今回の調査で県道下の旧古道で発見することができた。



↑遍路墓を撮影する濱田眞尚調査協力員
線状降水帯や猪等により旧古道はかなり荒廃していた。このような歴史的価値ある近世石造物の保存は喫緊の課題である。

◎市域中世山城ドローン写真撮影を実施！

あしずり遍路道上の近世石造物調査と並行して12月8日(木)～9日(金)の2日間、市域中世山城ドローン写真撮影を高知県立埋蔵文化財センター所長の松田直則氏(市史編集委員)と同所調査課長の吉成承三氏(市史調査協力員)に実施いただきました。この撮影は、10月18～19日(火～水)に実施した調査の続きとなり、今回で市域中世山城の写真撮影は完了となります。立石城跡・大岐城跡・奥猿野城跡・三崎城跡・下川口城跡・斧積城跡の7城跡のドローン写真と、前回うまく撮れなかった写真の撮り直しも行いました。これらの写真は、縄張図と併せて『新市史・資料編』に掲載していきたいと考えております。



左写真は、下川口城跡のドローン撮影風景。右写真は奥猿野城跡のドローン撮影風景。